



科学技術社会論学会 ― 第22回年次研究大会・総会(2023年度)内
実行委員会記念シンポジウム

研究倫理審査をアップデートする：
ELSI / RRIを組み込んだ
技術開発・社会実装の作法

2023.12.9.SAT 13:30 - 15:30
オンライン開催 (YouTube Live での配信を予定)



話題提供 1

研究倫理審査をRRIの中核に位置づける

(責任ある研究・イノベーション)

岸本充生 (Atsuo Kishimoto)

大阪大学 データビリティフロンティア機構



社会技術共創研究センター(通称、ELSIセンター)

Research Center on Ethical, Legal and Social Issues

<https://elsi.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University
Research Center on
Ethical, Legal and
Social Issues

シンポジウムの趣旨・背景

(個人的背景)

- 最近、大阪大学の**非医学系**の3つの部局で研究倫理審査の仕組みを作った。大学は把握しておらず部局任せ。部局ごとに作ることの実効性に疑問。
- 文科省の研究PJで、いろんな大学の**パーソナルデータ利活用**プロジェクトの倫理審査支援をしたが、大学ごと・部局ごとに、倫理審査のやり方や内容に大きな差異があることに衝撃。

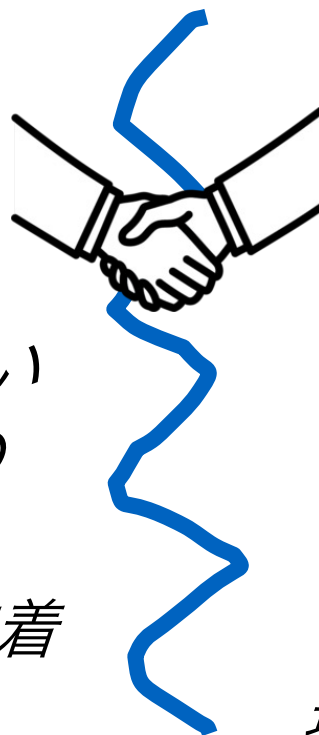
(組織的背景)

- **企業**（テック系、AI関連など）から社内に倫理審査の仕組みを作りたいという相談が複数。実際に共同研究を実施。技術のライフサイクルを意識。
- 企業関係者の中にも「責任ある研究・イノベーション（RRI）」や「テクノロジーアセスメント」に言及する人もちらほら。

研究倫理審査

やらないといけない
めんどくさいもの

生命・医科学分野で定着
国の指針を遵守

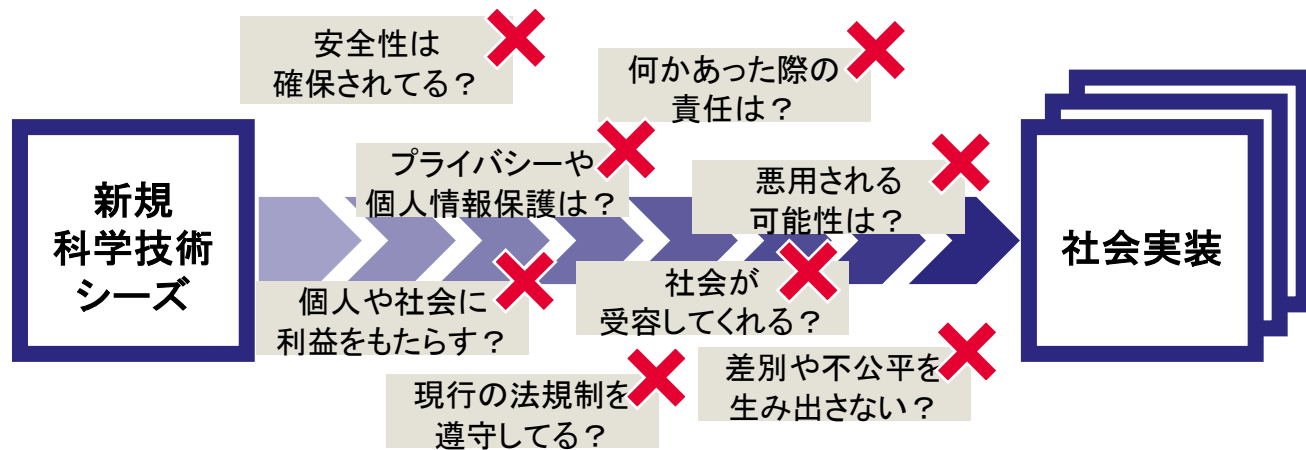


責任ある研究・
イノベーション
(RRI)

学術研究のあるべき
姿として提唱

非医学系、欧州から
理念先行で具体化に課題

新しい科学技術の社会実装はいろんなところでつまずいてきた。



倫理的・法的・社会的課題

(ELSI: Ethical, Legal and Social Issues)

最近では特にパーソナルデータの利活用ではしばしば「炎上」事例が起きている。

原因は、技術と社会の間のギャップを埋めるノウハウが欠如

「ギャップを埋めるノウハウ」のことを「社会技術」と呼ぶ。

2020年4月設立

社会技術共創研究センター(通称、ELSIセンター)

Research Center on Ethical, Legal and Social Issues

<https://elsi.osaka-u.ac.jp/>

3つの部門と4つの機能

総合研究部門

方法論やガバナンスの在り方等
 について総合的に研究する。

実践研究部門

学内・学外の研究者・事業者と
 連携し、共同研究プロジェクトを
 形成・推進する。

協働形成研究部門

学外のステークホルダーをつなぐ
 ため、幅広い市民の声を産業界・
 行政機関等につなげる。

3部門長＋約15
 名

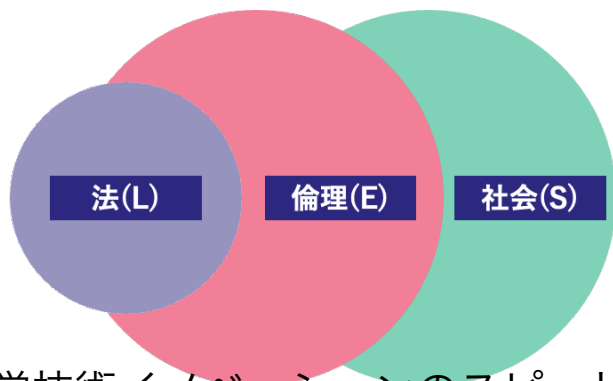
ELSI人材の育成

上記3部門が連携し、多様なELSI教育プログラムを開発します。教育プログラムは学内に限定せず、広く産業界や行政機関などへも展開し、ELSI人材を創出し、また社会の中で定着させる機能を担う。

多様な専門分野

情報通信法、ロボット法、科学技術社会論、国際私法、法理学、リスク学、規範倫理学、科学社会学、臨床哲学、倫理学、社会学、人類進化学、人類学、ヒューマンファクター研究、科学コミュニケーション論、動物行動学、音楽学・・・

- ①ゲノム分野で生まれたELSI概念をあらゆる新興技術に適用
 ②ELSIを、法（L）・倫理（E）・社会（S）に分けて議論



科学技術イノベーションのスピードが法規制の改正を上回る（Pacing problem）

法(L)

倫理(E)からの不断の見直し。

技術革新の後追いになる

倫理(E)

社会において人々が依拠すべき規範。安定的。法(L)の基盤。

社会(S)

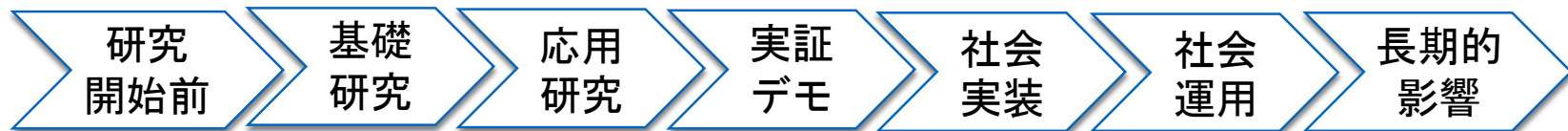
変化しやすい。不安定。

不安定で頼りにならない

不確かな時代に拠り所となるE(倫理)の重要性

どうやってE(倫理)を研究開発から社会実装のプロセスに組み込むか？

企業は「倫理」に着目し、技術のライフサイクル全体に、倫理原則/倫理指針の策定・実践や研究倫理審査の実装を急ぐ。



↳ 「責任ある研究・イノベーション」の考え方！
“Responsible Research and Innovation”

研究

イノベーション

先見性
anticipation

省察性
reflexivity

包摂性
inclusion

応答性
responsiveness

責任あるイノベーションの4側面 (Stilgoe et al. 2020)

医学分野では、技術のライフサイクルでの監督が制度化

研究
開始前基礎
研究応用
研究実証
デモ社会
実装社会
運用長期的
影響

医学系

研究倫理審査非臨床試験 承認
臨床試験製造
販売販売後調査
病院倫理委員会

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針

医学・生命科学研究

臨床研究

臨床試験

治験

第8章 倫理審査委員会

第16 倫理審査委員会の設置等

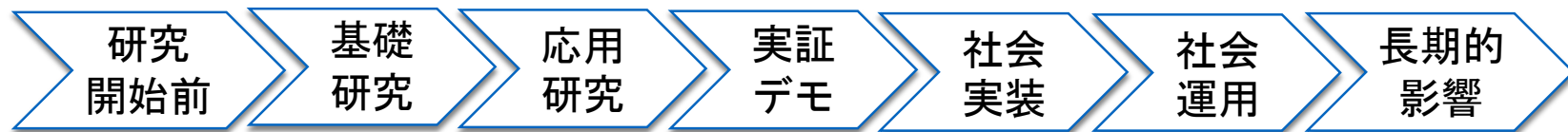
第17 倫理審査委員会の役割・責務等

倫理審査

「・・・倫理的観点及び科学的観点から、当該研究に係る研究機関及び研究者等の利益相反に関する情報も含めて中立的かつ公正に審査を行い、文書又は電磁的方法により意見を述べなければならない。」

「人を対象とする生命科学系・医学系研究に関する倫理指針」説明資料（令和5年4月17日）より引用

責任ある研究・イノベーション（RRI）



医学系 研究倫理審査

①
↓
拡張

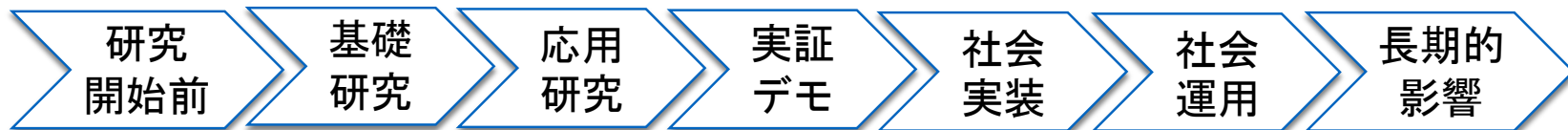
②拡張

非医学系

(大学・企業・自治体)

ライフサイクル全体へ

責任ある研究・イノベーション（RRI）



医学系

研究倫理審査

コンセンサス会議

規制

市民陪審

ガバナンス

熟議プロセス

第三者監督

フォーカスグループ

行動規範

テクノロジー・アセスメント

モラトリアム

フォーサイト

研究規制

ホライゾン・スキャンニング

非医学系

② 拡張

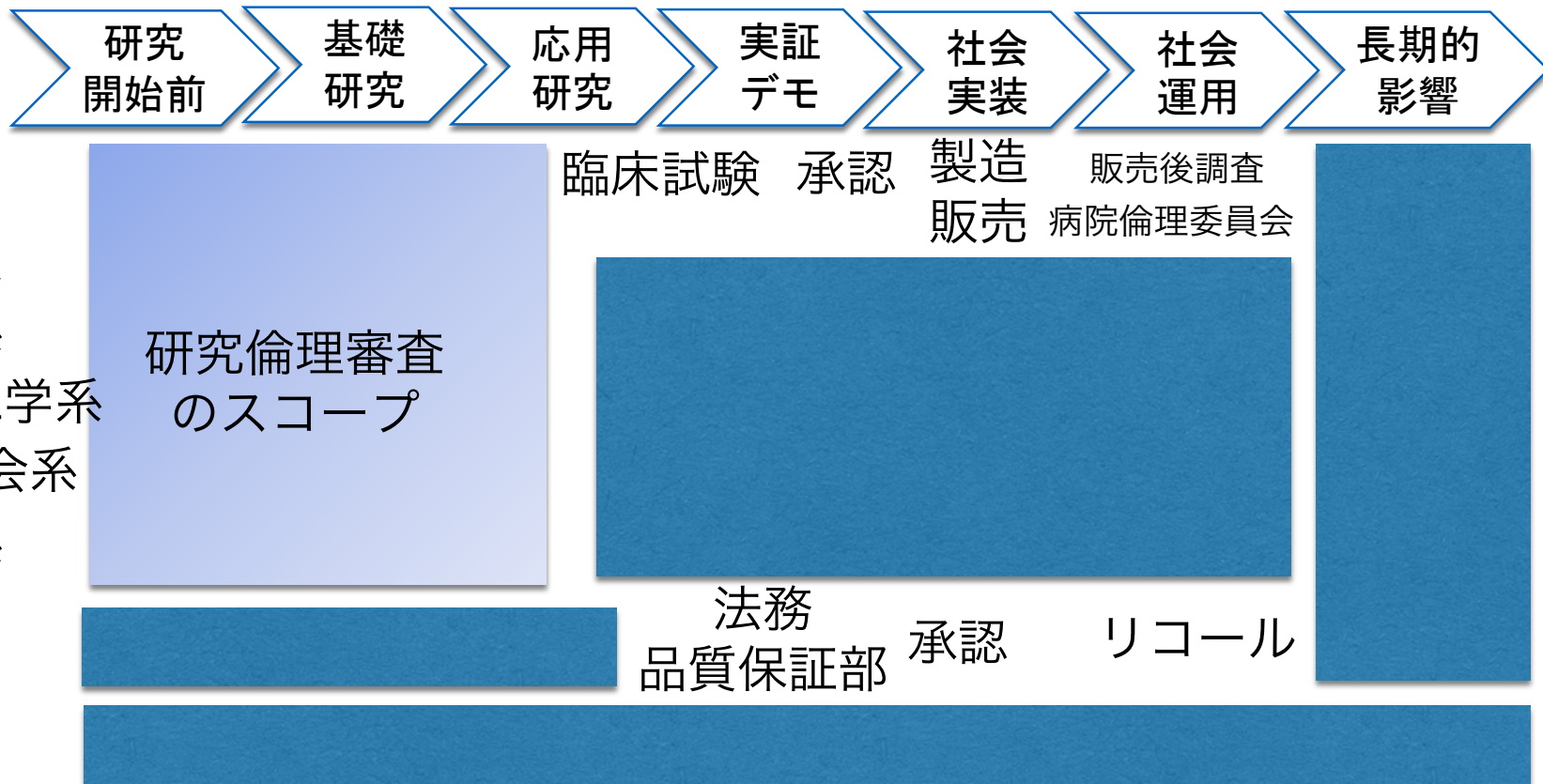
(大学・企業・自治体)

ライフサイクル全体へ

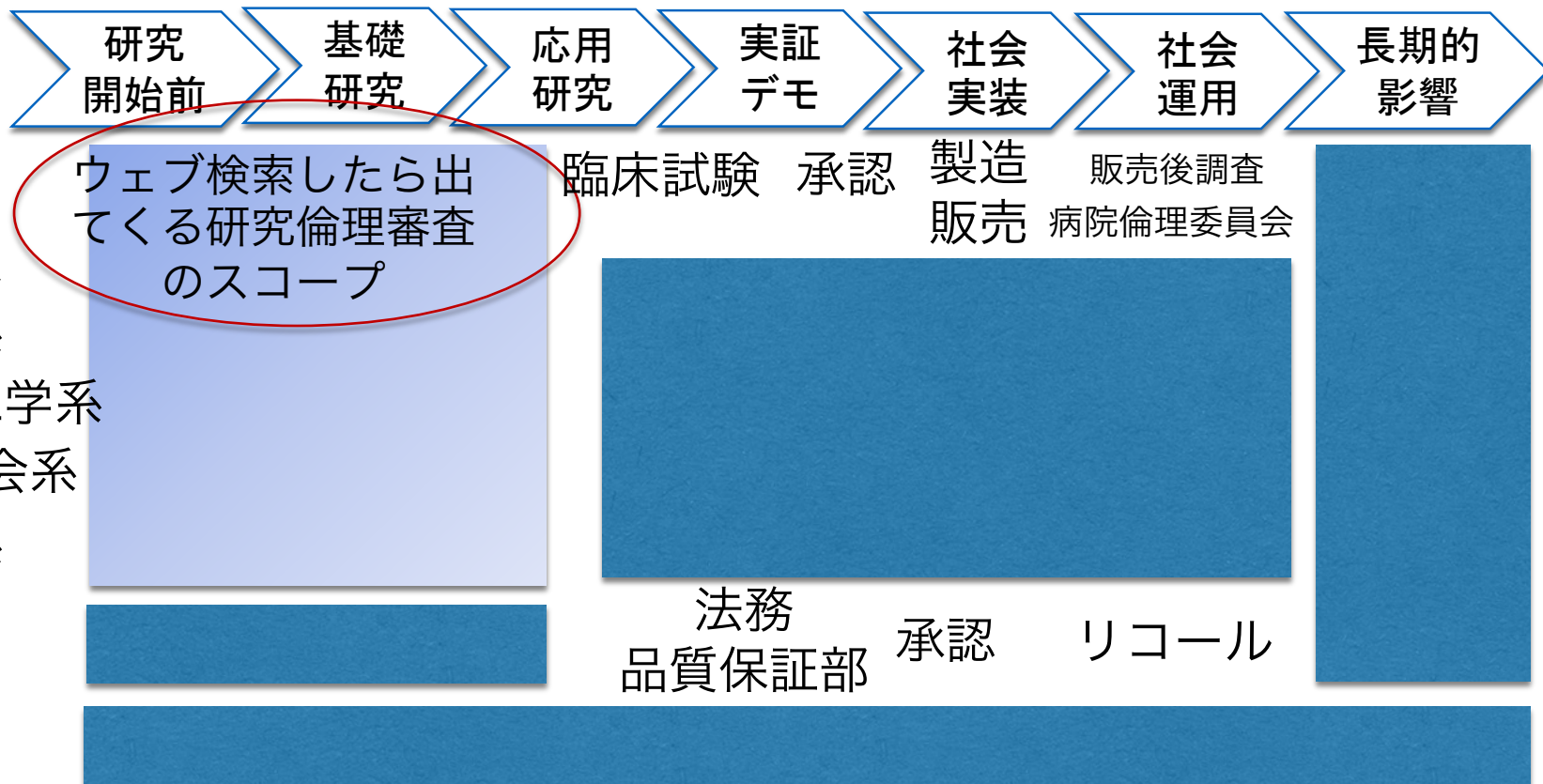
研究倫理審査が非医学系へも拡大していく中で、これまでアカデミアで議論されてきた

様々な手法・アプローチを取り込んで**RRIツールにアップデート**しよう！

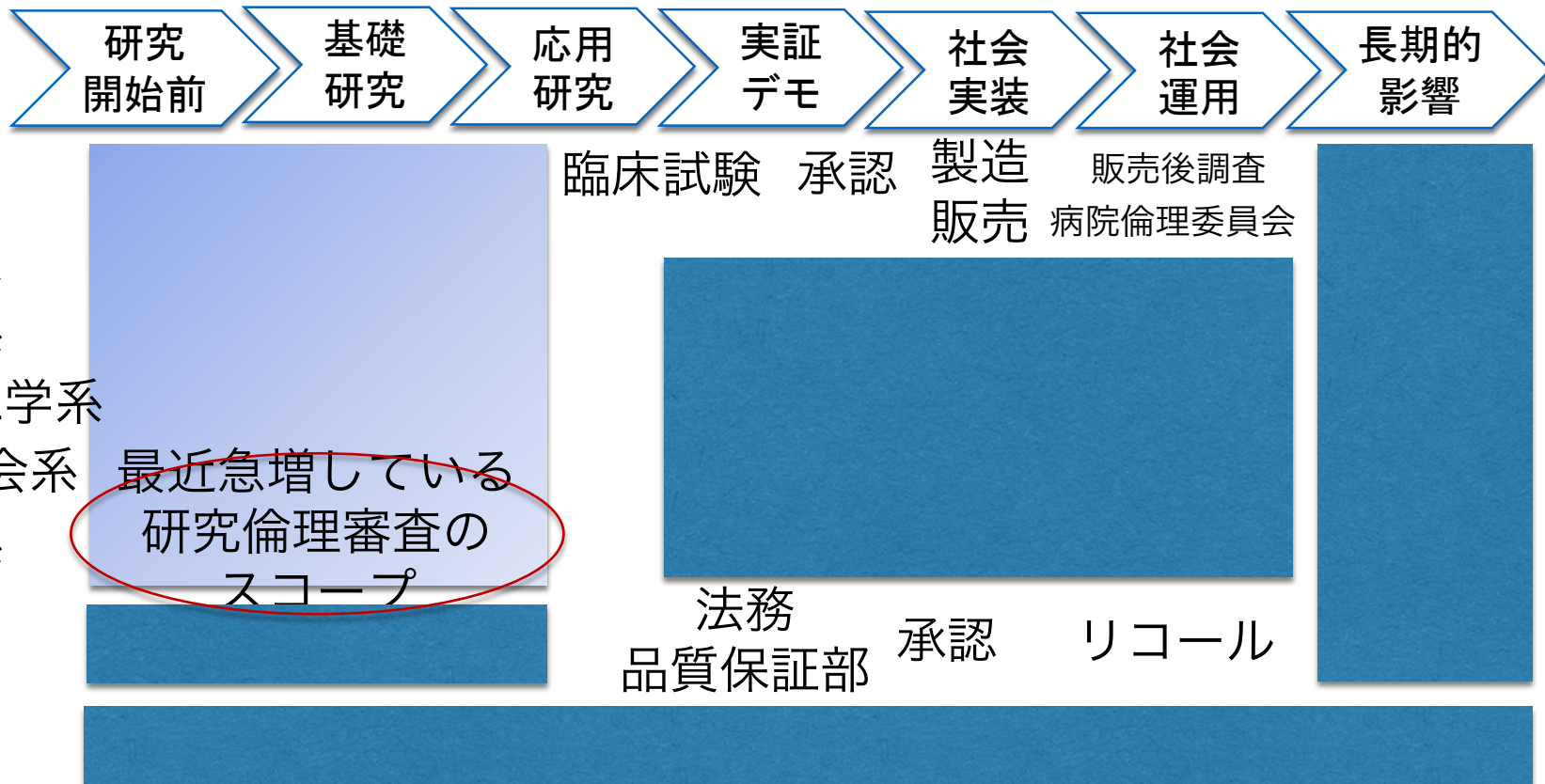
みんな一部分しか知らないし、たくさん抜けがある



みんな一部分しか知らないし、たくさん抜けがある



みんな一部分しか知らないし、たくさん抜けがある



ヒトからデータへ

(研究参加者と直接やりとりする研究から、研究参加者は「データ」となり直接やりとりがなくなる)

- ・ インターネット研究

- ・ ソーシャルメディア研究

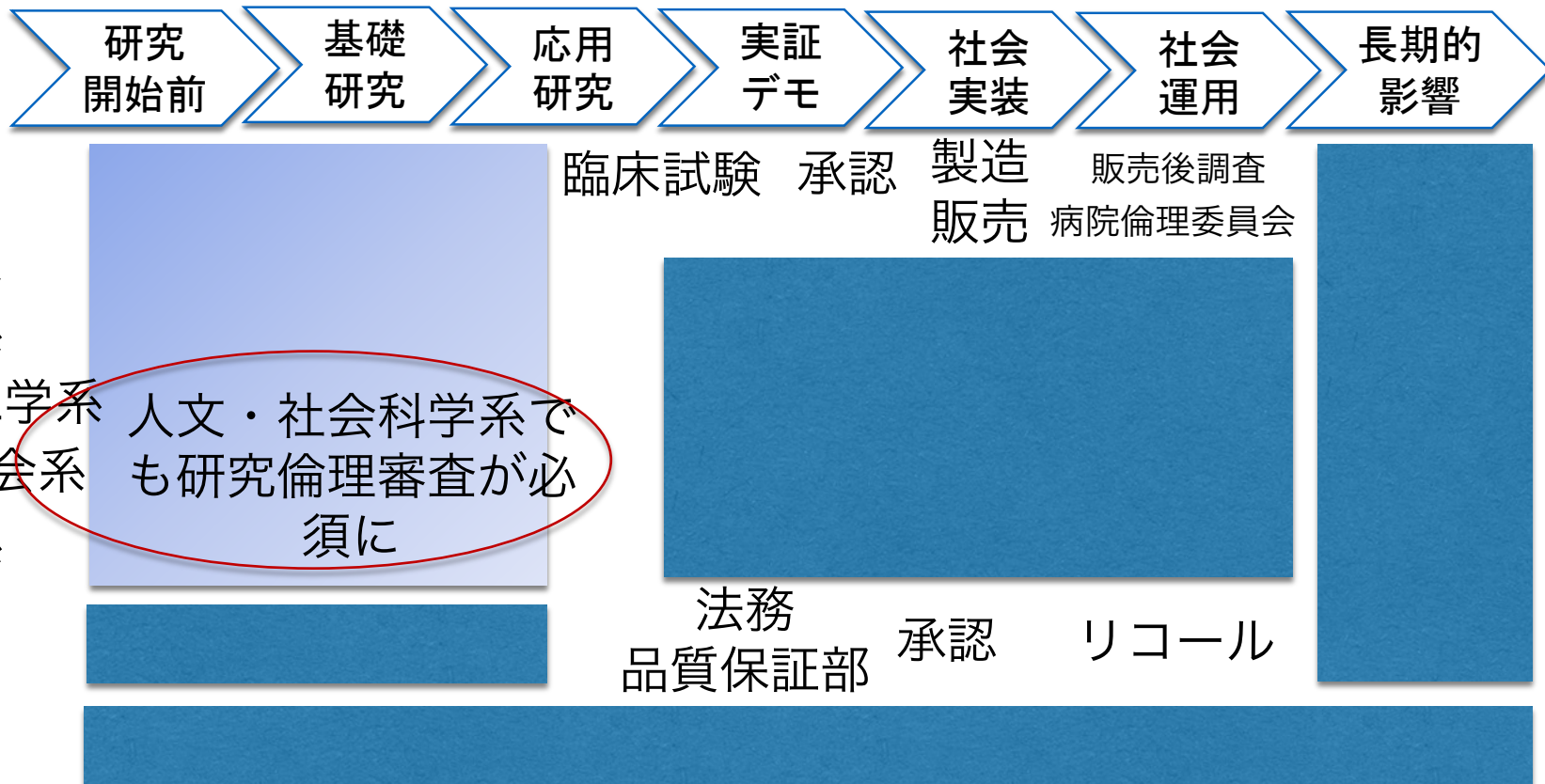
- ・ ビッグデータ研究

➤ リスクは、身体的・心理的な危害のリスクから、プライバシー侵害やアルゴリズムによる差別といった情報学的な危害のリスクへと移行

➤ ‘human subject’ 概念のゆらぎ。
data subjectへの移行。

	オフライン	オンライン
ヒト (物理的に侵襲)	臨床	—
ヒト (心理的に侵襲)	心理	—
臨床データ	病院で取得	データベース化 バイオバンク
健康データ	病院や家庭で取得	ウェアラブルやアプリで取得
教育・学習データ	学校・塾で取得	成績や学習履歴のデータベース化 オンライン教材から取得
日常データ	監視カメラ	スマホの位置情報 クレジットカード Suicaなどの利用履歴
オンラインデータ	—	(パッシブ) 閲覧・検索・購買履歴 (アクティブ) ソーシャルメディアへの書き込み

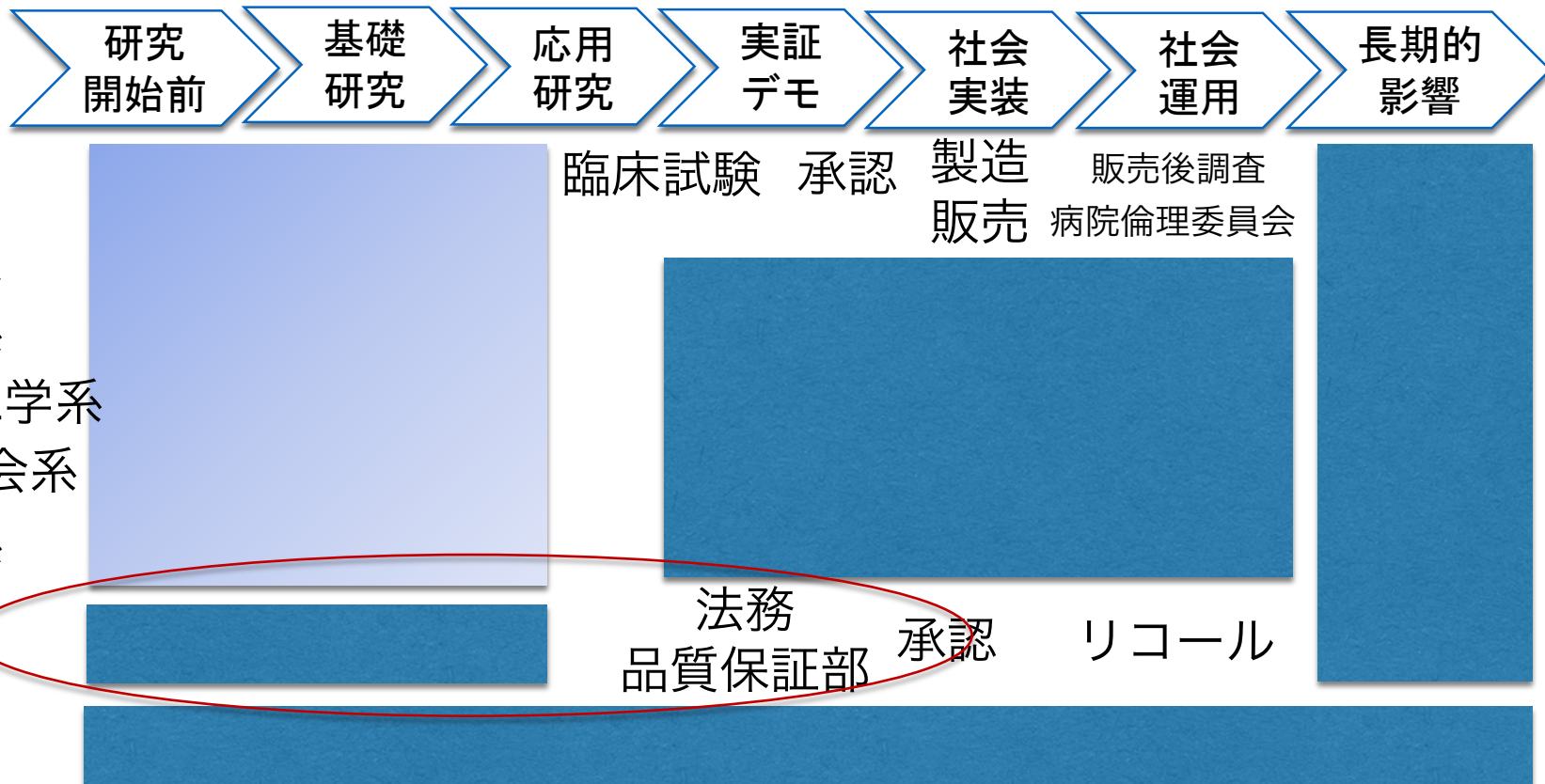
みんな一部分しか知らないし、たくさん抜けがある



人文・社会科学系の倫理審査での新しい課題

- ・ ガイドラインなし、専門家なし、ノウハウなし、支援なし。⇒属人的
⇒大学間、部局間で大きなバラツキ ⇒「倫理審査ショッピング」が可能に
- ・ 迅速・簡易審査の導入。⇒効率化するものの、ますます属人的
- ・ 災害研究のジレンマ（援助と研究の境目）
- ・ 質的研究では、研究計画どおりに進むとは限らず、事前審査になじまないという指摘。
⇒質的研究ではむしろ、公表の際に倫理的課題が多い（ために、別の審査があってもよい）。
- ・ 行動経済学の実験などではそもそも「同意」は取れない（≠「インフォームドコンセント」）。
- ・ インターネット研究の倫理（著作権、利用規約、個人情報）についてのコンセンサスが不在。
- ・ 何人以上／どんな種類のインタビュー調査には研究倫理審査が必要かが不明。
- ・ 事件/事故/災害に迅速を調査研究するためには毎回、倫理審査を受けていけない？
- ・ そもそも、人文・社会科学系の倫理審査についての実態が不明！

みんな一部分しか知らないし、たくさん抜けがある



企業（テック系）の研究倫理審査ニーズは大きい

2021年6月 メルカリR4D

2021.6.30 プレスリリース

メルカリ、大阪大学ELSIセンターとの共同研究に基づき策定した独自の研究開発倫理指針を公開



～本格的な共同研究を開始し、高い倫理性や社会性を有する企業研究開発組織のロールモデル構築を目指す～

株式会社メルカリ（以下、メルカリ）の研究開発組織「mercari R4D（アールフォーディー）」（以下、R4D）と大阪大学社会技術共創研究センター（以下、ELSIセンター）は、「ELSI」（Ethical, Legal and Social Issues／エルシー）に関する共同研究に基づき策定した独自の研究開発倫理指針を公表しましたのでお知らせいたします。また、R4DとELSIセンターは、さらなる本格的な共同研究を開始し、今後、高い倫理性や社会性を有する企業研究開発組織のロールモデル構築を目指す。

https://about.mercari.com/press/news/articles/20210630_elsi/

2022年6月 サイバーエージェント

プレスリリース

▶ プレスリリース一覧

印刷用画面

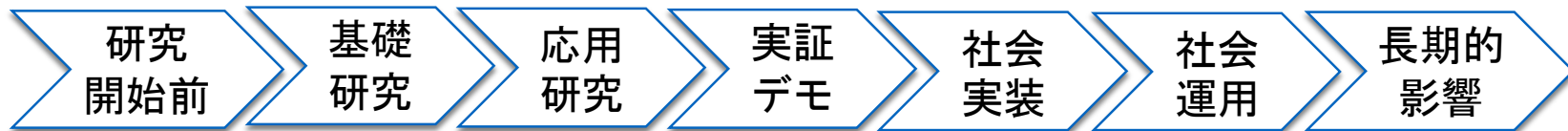
研究倫理ガイドラインの制定および、研究倫理審査委員会の運営を開始 ～倫理的・科学的に社会から受容される健全な研究開発の推進強化へ～

サイバーエージェント | 2022年6月15日

株式会社サイバーエージェントは、倫理的・科学的に社会から受容される健全な研究開発を推進することを目的に、日本学術会議における科学者の行動規範、厚生労働省の研究に関する指針に基づき策定した、独自の研究倫理ガイドラインを制定したことをお知らせいたします。また、外部の専門家を招致した研究倫理審査委員会を当社内に設置し、社会や環境に配慮した研究開発の促進に向けて倫理審査委員会の運営を開始いたします。

<https://www.cyberagent.co.jp/news/detail/id=27708>

みんな一部分しか知らないし、たくさん抜けがある



医学系

臨床試験 承認 製造 販売 販売後調査 病院倫理委員会

非医学系

心理系

人間工学系

人文社会系

情報系

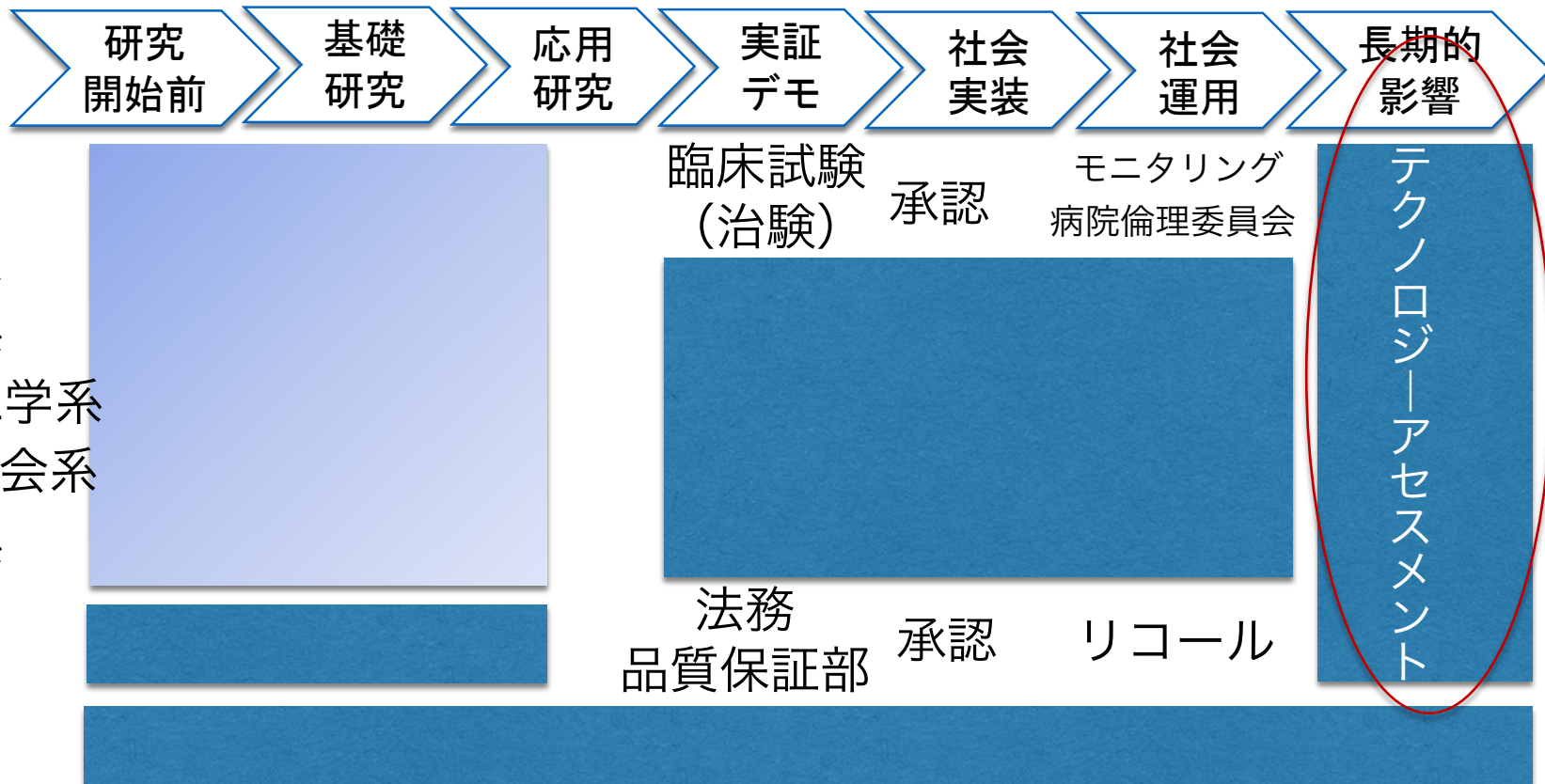


企業系

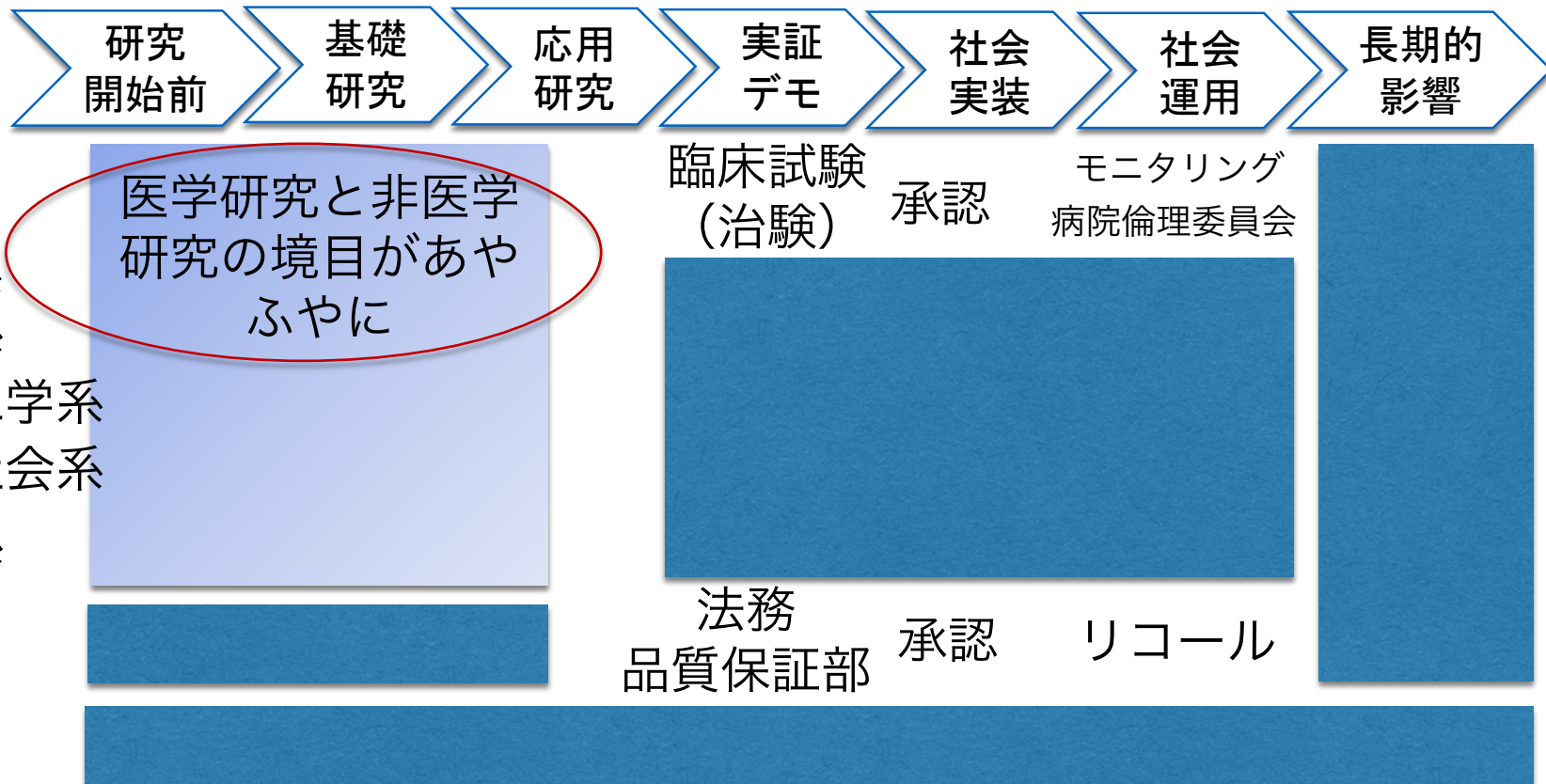
法務 品質保証部 承認 リコール

自治体系

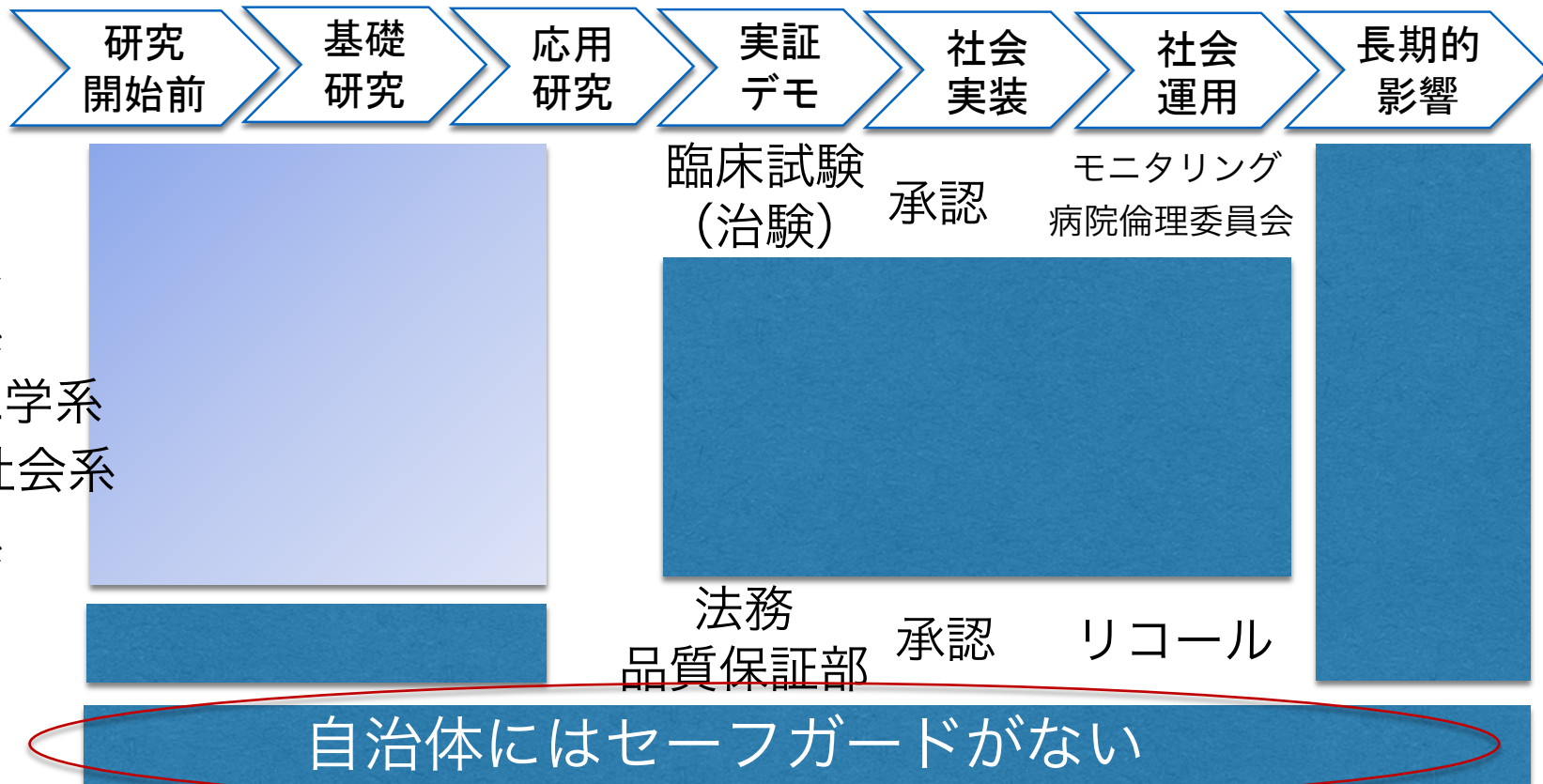
みんな一部分しか知らないし、たくさん抜けがある



みんな一部分しか知らないし、たくさん抜けがある



みんな一部分しか知らないし、たくさん抜けがある



課題山積み。まずは全体を俯瞰する人を増やす。

研究倫理審査



責任ある研究・イノベーション (RRI)

医学系



人文社会系

心理系

情報系

特に医学系の研究倫理審査の経験者は他分野にどんどん来てほしい。

そして「受けたくなる倫理審査」を目指す。